

完全保存版 なぜか仕事ができる人の「考える技術」

仕事には人を成長させる力がある

PHP Business

THE 21

02 2014
No.351
PHP INSTITUTE

平成26年1月10日発行 毎月1回10日発行 第31巻第2号 昭和60年1月22日第三種郵便物認可

ざ・にじゅういち 定価550円

新春
ロングインタビュー
経営コンサルタント



大前研一

2014年の民族大移動と
新「ビジネス世界地図」

総力特集

なぜか仕事ができる人の

考える 技術

シンプルに、
すばやく、
論理的に

巻頭特別インタビュー

元外資系証券マンの
「優勝を手にする」分析術



立花陽三

東北楽天ゴールデンイーグルス球団社長

特別企画

仕事はあるか？ 給料は増えるか？

35歳からの
「U・Iターン転職術」

特集

カリスマ人気講師が本音で語る

日本人にいちばん合った**英語勉強法**



35歳からの

U・Iターン 転職術

仕事はあるか？

給料は増えるか？

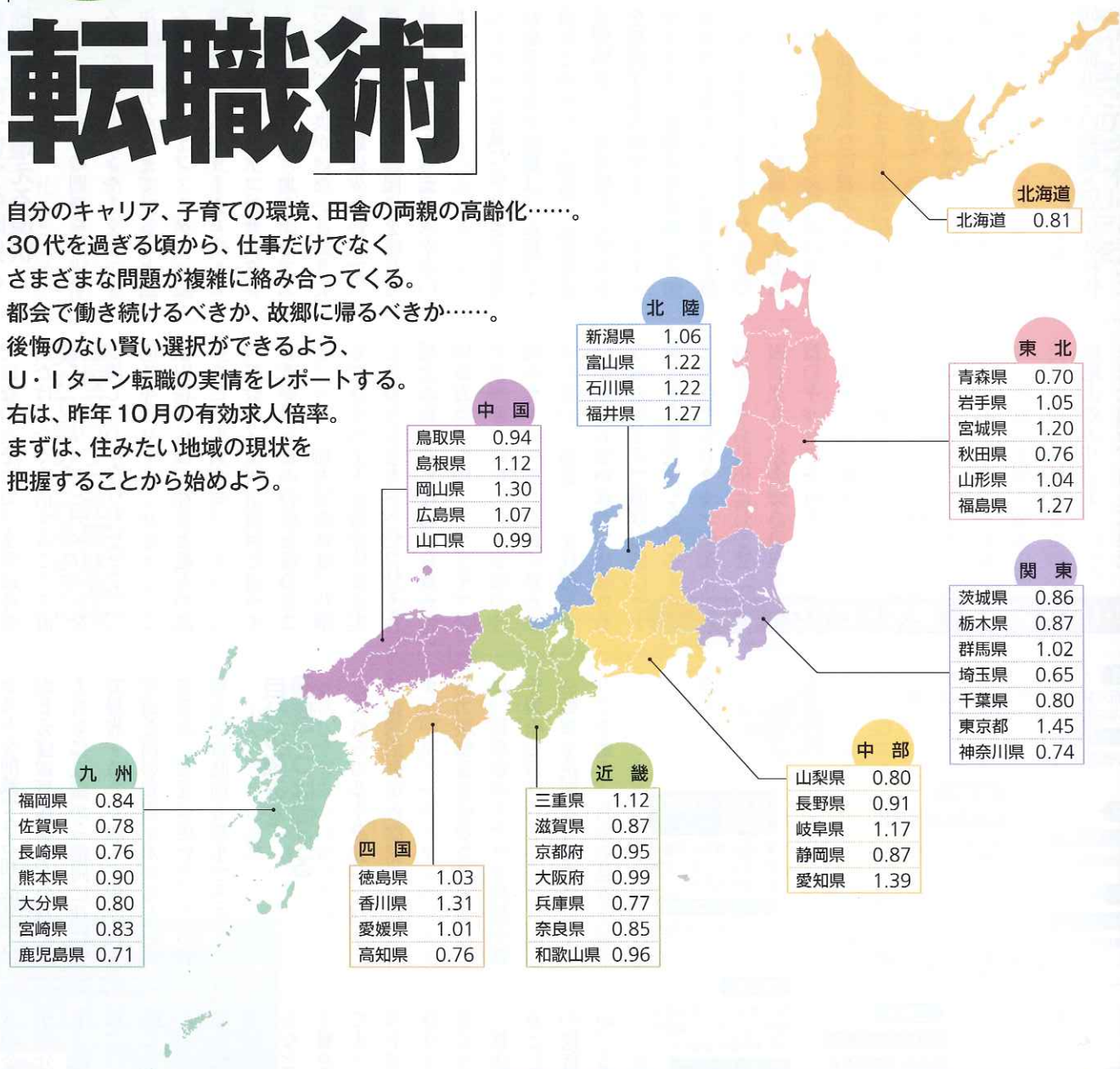
特別企画

都道府県別有効求人倍率

全国計.....0.98

資料:2013年10月
厚生労働省一般職業紹介状況
(職業安定業務統計)

自分のキャリア、子育ての環境、田舎の両親の高齢化……。30代を過ぎる頃から、仕事だけでなくさまざまな問題が複雑に絡み合ってくる。都会で働き続けるべきか、故郷に帰るべきか……。後悔のない賢い選択ができるよう、U・Iターン転職の実情をレポートする。右は、昨年10月の有効求人倍率。まずは、住みたい地域の現状を把握することから始めよう。



CONTENTS

中堅ビジネスマンが
U・Iターン転職を成功させる7つのポイント P.90

ケーススタディ
U・Iターン転職成功者はどんな工夫をしたのか？ P.92

U・Iターン転職成功の7つのポイント

- 1 地方と都会の違いをきちんと認識する
- 2 最低でも2つは強みを持っておく
- 3 何のための転職か動機をしっかりと持つ
- 4 転職における優先順位をつける
- 5 転職エージェントに頼る
- 6 35~45歳がベストタイミング
- 7 転職時の給料にこだわらない

資料:高岡氏、植田氏への取材をもとに、編集部が作成

求人もあるのに、公開されていない。一般的なものより幅も広がります。また、転職希望者の大きなメリットとして、時間やお金を節約できることもあります。人事担当を経て、役員、社長と面接をするのではなく、決定権を持つ幹部

「何のために転職するのかという動機と、ほんとうに転職する必要があるのか否かを明確にしておく必要があります。転職によって適えたい項目の優先順位を決定しておくのです。そうすれば、優先順位が低い項目で違う」と思うことがあっても目を瞑る。

とくに、縁のない場所に転職するIターンの場合、雇用する企業側も転職者側が強い志望動機を持っていないと慎重になります。実際に暮らしてみても、思っていた生活と違う、と仕事以前の問題が発生するケースがあるからです(植田氏)

それまでのキャリアを活かして転職活動

では、実際に転職活動はどのように始めたらいいのだろうか。「転職サイトに登録したり、ご自身で求人企業を探するなど方法はいろいろあります。しかし、三十代以上のビジネスマンは、転職エージェントを介したほうがスムーズに決まることが多いです。三十代後半以降はキャリアがほぼ固まっているため、そのキャリアを活かせる職場を志望されることがほとんどです。転職エージェントですと、それぞれのキャリアに見合った職種や条件で企業を探し、マッチングさせられるので、雇用する側とされる側の条件が一致しやすい。公開されていない求人もあるので、一般的なものより幅も広がります。また、転職希望者の大きなメリットとして、時間やお金を節約できることもあります。人事担当を経て、役員、社長と面接をするのではなく、決定権を持つ幹部

とっては気軽に決断できるものではない。そこで、まずは仕事面だけでなく生活することを前提に、メリットとデメリットを認識しておかなければならない。植田将嗣氏は、都会と地方の違いをこう説明する。

「都会のメリットは何と言っても業界最先端の経験を積めること。一方、地方であれば、仕事もプライベートも全方位に充実した暮らしを手に入れられます。都会の暮らしに違和感を覚えている方は、キャリアアライフスタイルか、ご自身やご家族の今後のライフプランを良く考えてください。私は、二十代の若者には刺激の強い都会でいろいろなものを学んで吸収して、二十代でのUターン転職はあまりお勧めはしません。しかし、都会である程度のキャリアを積んだ、三十五〜四十五歳くらいの方であれば、ライフプランをじっくりと検討してみたいかと思えます」

物理的なことで考えれば、家賃が安価で済み、通勤時間を短縮できるのは地方のメリット。

また地方、とくに地元

クラスとすぐに会え、すぐに結論が出ることも多いので、面接のために何度も地方に足を運ぶ必要がありません(植田氏)

年代的には、キャリアを備えた三十五歳過ぎにニーズがあると言う。ただし、四十五歳を超えると難易度が高くなる。「四十五歳を超えると、転職ではなくヘッドハンティングの領域になり、求人数自体が激減します。また、三十代であっても、転職でキャリアチェンジをしようとするのは難しい。U・Iターン転職に限ったことではないですが、キャリアチェンジが許されるのは二十代まで。繰り返してはいますが、キャリアチェンジが許されるのは二十代まで。繰り返してはいますが、キャリアチェンジが許されるのは二十代まで。繰り返しては...

「U・Iターン転職は、九割が年収がダウンすると事前に心づもりしておいてください。良くてスライドです。地方のほうは都会より平均年収が低いことが多いですし、本来転職は、その会社でのキャリアアップがゼロベースでのスタートとなるわけですから、下がるのは当然なのです(植田氏)

だからこそ「年収がアップするU・Iターン転職は危険」と高岡氏は警鐘を鳴らす。「プロパーの従業員との給料にあまりにも差がある転職はお勧めできません。給与額などは、なんとなく漏れ伝わるものです。それが広まったことにより居心地が悪くなり、実力を発揮する前に退職した、という例もあります。」

会社内での人間関係を円滑にするためにも、転職時の給与に固執しすぎるのは避けたほうが無難です。もしスタート時の年収が前職と比べて低かったとしても、仕事の中で評価を得て実力で年収をアップさせる。これが結果的に一番幸せな転職と言えます」

先に述べた世代交

取材協力
(株)リージョナルスタイル
「暮らしたいところで思い切り働く」をテーマに大都市圏から地方へのUターン・Iターンを支援する転職エージェント。全国16カ所に拠点を構え、各地域に密着した転職サポートを行なう。
http://www.regional.co.jp

高岡幸生
Yukio Takaoka
代表取締役

植田将嗣
Masatsugu Ueda
代表取締役

敏腕コンサルタントに聞いた!

中堅ビジネスマンがU・Iターン転職を成功させる7つのポイント

中堅ビジネスマンの転職は、ライフスタイルの変化を伴うケースが増えてくる。だからこそ慎重になってしまうもの。そこで、数々の転職をサポートしてきたコンサルタントに、U・Iターン転職の成功のポイントをうかがった。

都会での子育ての境界と地方移住が増える現状

「最近の子育ての問題を解決するためにUターンやIターンを決断する方が増えている」と語るのは、Uターン・Iターン転職を支援する(株)リージョナルスタイルのキャリアコンサルタント・高岡幸生氏。地方出身であっても、子供がいない共働き夫婦であれば問題は少ない。だが、都会での子育てに限界を感じて地元への移住を考える人が多いようだ。

「Uターン転職に限りますが、転職希望者の動機は、①給料、②会社そのもの、③業界の特性、④人間関係、⑤地域性のいずれかを解消するためです。UターンやIターン転職希望者は、⑤の地域性を変えることに重きを置いている層となります(高岡氏)」

U・Iターン転職を考える人の中には、子育ての問題以外にも、高齢化した両親のために故郷へ戻るケースもあれば、東日本大震災を経て、「いつかは戻る」を「いま戻る」に、時期を先送りしなくなったなど、事情はさまざま。

しかし、U・Iターン転職は、同じ都市での転職と異なり移住を伴うので、家族がいる年代に

とっては気軽に決断できるものではない。そこで、まずは仕事面だけでなく生活することを前提に、メリットとデメリットを認識しておかなければならない。植田将嗣氏は、都会と地方の違いをこう説明する。

「都会のメリットは何と言っても業界最先端の経験を積めること。一方、地方であれば、仕事もプライベートも全方位に充実した暮らしを手に入れられます。都会の暮らしに違和感を覚えている方は、キャリアアライフスタイルか、ご自身やご家族の今後のライフプランを良く考えてください。私は、二十代の若者には刺激の強い都会でいろいろなものを学んで吸収して、二十代でのUターン転職はあまりお勧めはしません。しかし、都会である程度のキャリアを積んだ、三十五〜四十五歳くらいの方であれば、ライフプランをじっくりと検討してみたいかと思えます」

物理的なことで考えれば、家賃が安価で済み、通勤時間を短縮できるのは地方のメリット。

また地方、とくに地元

U・Iターン転職 地方トピック

資料:リージョナルスタイルの各地方拠点からのアンケート



これらの基本を押さえたうえで転職活動を行なうことになるが、中堅ビジネスマンがU・Iターン転職を成功させるためには、転職前のキャリア構築が鍵を握ると言う。

「転職を決断する前までにキャリアを磨き、自分の強みを最低

二つは備えておきましょう。地方の企業は都会と異なり、業務が細分化されていないことが大半。総務部が人事部の業務を兼ねていることもざらにあり、多岐にわたった業務を任せられることが前提です。たとえば営業職であれば、数字のシミュレーションができる、事業を構築できるなど、営業部長やマネージャー職をこなす以外の能力が必須です。一つの分野でスペシャリストであることは当然で、ゼネラリストの資質も求められるのです(高岡氏)

都会でも中堅層の転職は即戦力として期待されるが、地方での期待度は都会のその比ではない。また、転職成功の秘訣はキ

「やはり東京と比べて会社の規
 八月にイベントで話を聞いて、
 自ら会社に連絡。人事担当者
 何回か電話で話をしたあと、翌
 月の帰省時に合わせて面接をし、
 すぐに内定。前職の引継ぎなど
 を済ませ、翌年の四月に入社を
 した。」

U・Iターン転職成功の秘訣

単純に田舎が好き、だけ
 ではダメ。自分の価値観
 がどこにあるか考える

プロフィール

1972年、島根県生まれ。地方
 国立大学卒業後、建築設備会社
 8年、IT会社9年を経て、2012
 年、転職。

自身のキャリアを最大限に活
 かし、将来を見据えたUターン
 転職を成功させた好例だろう。
 数カ月後、採用前提ではない、
 という条件付きでの面接が実現。
 「会えればどうにかなると思っ
 ていた」という横田さん。実際、
 その面接以降、会社の方針がe
 コマース強化に転換。その後三

U・Iターン転職成功の秘訣

自分のこだわりは決して
 捨てないが、その他は
 妥協を覚悟する

プロフィール

1975年、新潟県生まれ。北海
 道大学卒業後、楽天社に入社。
 2012年、転職。

4人にうかがった 転職成功データ

	新村さん	中村さん	津田さん	横田さん
転職時年齢(転職時家族構成)	35歳(妻)	41歳(妻、子供1人)	39歳(妻)	36歳(妻、子供3人)
転職活動期間(エントリー～内定)	約2年	4カ月	2カ月	6カ月
転職活動(面接)をした会社数	4社	1社	1社	2社
転職前→直後の年収差(おおよそ)	100万円▲	100万円～400万円▲	若干▲	200万円▲

取材協力: (株)リージョナルスタイル、公益財団法人ふるさと島根定住財団

ケーススタディ U・Iターン転職成功者は どんな工夫をしたのか?

35歳を過ぎてから都会を離れる選択をした4人の方々に、
U・Iターン転職のきっかけと、成功の秘訣をうかがった。

都会でのキャリアを最大限に活かしながら、ゆとりある暮らしを手に入れるためにやったことは、

東京→北海道へUターン



新村亮太さん(仮名) 37歳

札幌にUターン転職し、結婚
 式場を運営するグローヴエンタ
 ーテイメント(株)で経営戦略室長
 を務める新村亮太さん(仮名)。
 前職は東京勤務だが、転職活動
 はスムーズに進んだと語る。
 「転職活動は、とくに勤務地に
 こだわらずしていました。ただ、
 大学が札幌だったことと、当時
 遠距離恋愛中で札幌に住んでい
 た妻の故郷ということもあり、
 札幌には馴染みがありました。
 しかも、前職で札幌出張が多か
 ったことや彼女の存在もあり、
 ふたを開けてみると面接をした
 のはすべて札幌の会社。二年間
 で四社の社長とお会いして、い
 まの会社に決めたんです。私の
 決め手は社長の人柄でしたが、
 社長も私に対してそう思ってく
 れたようでした」

U・Iターン転職成功の秘訣

馴染みのある土地に住
 むことと、社長の人柄
 で会社を選ぶこと

プロフィール

1976年、大阪府生まれ。北海
 道大学、同大学院を修了後、(株)
 USENに入社。不動産会社2
 社を経て、2010年、転職。

U・Iターン転職成功の秘訣

自分のこだわりは決して
 捨てないが、その他は
 妥協を覚悟する

プロフィール

1971年、福岡県生まれ。西南学
 院大学卒業後、エネルギー商社
 へ入社。金融系ネットサービス
 会社などを経て、2012年、転職。

東京→広島へUターン



中村 誠さん(仮名) 42歳

U・Iターン転職成功の秘訣

仕事内容は一切妥協せず
 ほんとうにやりたい仕事
 を選ぶ

プロフィール

1971年、福岡県生まれ。西南学
 院大学卒業後、エネルギー商社
 へ入社。金融系ネットサービス
 会社などを経て、2012年、転職。

したのですが、あの時期、お互
 いの両親がそばにいない東京だ
 ったらと、想像するだけで恐ろ
 しい。妻も自分の両親が近くに
 いるので、精神的に楽みたいで
 すよ」

子供の誕生をきっかけに自分
 か妻の地元で子育てをしたいと
 考え、妻の出身地・広島へUタ
 ーン。代表取締役からマネージ
 ャー職に転身した中村誠さん
 (仮名)。「一見ポストダウンとも
 見えるが、中村さんは「転職の
 デメリットはゼロ」と言う。
 「年収ダウンは最初から覚悟し
 ていました。ただ、仕事内容に
 関しては一切妥協せず、自分が
 やりたいことをする、というこ
 とを貫きました。転職した(株)ア
 スカネットは、デジタル写真の
 印刷・加工を手がける会社です
 が、入社以来、新規事業の立ち
 上げでできた社長直轄のセクシ
 ョンでマネジメント全般を任せ
 られています。前職で、数十件の
 新規事業立ち上げに携わってき
 たことが評価されたようです。
 実は前は、雇われ社長で、年
 収は個人事業主の売上げとして
 の金額だったので、実質的には
 いまと大差ありません。前職の
 ような不安定な収入ではなくな

埼玉→島根へUターン



津田 健さん 41歳

模が小さいので最初は少し不安
 でした。しかし、話を聞いてみ
 ると、全国を相手に業務を実施
 しており、これなら大丈夫かな、
 と。転職前と仕事内容は大きく
 変わっていませんが、以前より
 小さな会社だけに個人に任せら
 れることも多く、仕事の範囲や責
 任が増えたことで、やりがいも
 大きくなりました。
 給与面では少し下がりました
 が、住居に関わる費用が全然違
 いますし、電車通勤のストレス
 もなくなりました。それに加え、地
 域コミュニティにもスムーズに
 参加することができました。転
 職を本気で考えたとき、妻はも
 う少し埼玉にいたかったようで
 少し難色を示しましたが、いま
 はこちらで転職もし、結果的に
 定年まで待たなくて良かったと
 思っています」

東京→新潟へUターン



横田修二さん(仮名) 38歳

「いつかは実家のある新潟へ、
 と思っていたのですが、実際に
 動くきっかけとなったのは東日
 本大震災です」と語るのは、新潟
 県三条市に本社を置くアウトド
 ア用品メーカー(株)スノーピーク
 で、執行役員営業本部長を務め
 る横田修二さん(仮名)。転職前
 は、楽天(株)で宣伝グループマネ
 ージャーとして活躍をしていた。
 「転職活動にあたって、自分が
 行きたいと思う会社にしか行か
 ない」と決めていました。趣味
 のアウトドアを通じてスノーピ
 ークはよく知っていて、ここで
 働きたいと思ったのですが、そ
 のとき希望の職種での求人はず
 なくて。そこで転職エージェント
 に登録して、会ってもらえるよ
 うセッティングを依頼しました」

回の面接を経て、楽天での九年
 間の仕事が評価され、国内営業
 本部EC推進課のマネージャー
 としての入社が決定。現在は、
 eコマースを含めた営業全体の
 まとめ役を担う。
 「東京では共働きだったのです
 が、二人とも地方出身で、親に
 頼れない子育ては大変でした。
 移住にあたり妻が仕事を辞めた
 ことで収入面では少し不安があ
 りましたが、実家の両親からの
 子育てのサポートや、孫にすぐ
 に会わせてあげられること、子
 供の喘息が良くなったことや私
 自身の趣味の充実など、家族の
 生活環境を考えると、お金には
 代えられない満足感があります」
 もちろん、仕事の充実度も高
 い。「ここでは、これまでの自分
 の仕事の強みを活かして面白そ
 うなことができる。新潟から世
 界へ発信し、地元へ貢献してい
 きたい」と今後の目標を語って
 くれた。